

チャレンジスキー

2月8日(土)・9日(日)

1日目：スキー活動、ぽかぽか鍋づくり、枝笛づくり

自然の家の事業は「社会教育」と呼ばれ、参加者が「このゆびとまれ」で集うものです。そこで、今回は「みんなが気持ち良くすごせるように」を合言葉に、事業をスタートしました。

前日の大雪の影響で、スケジュールや活動場所の変更もありましたが、各グループに分かれ、それぞれの経験に合わせた練習を行いました。特に、初めてのみんなは、2日目のために「しっかり止まれる」ようにがんばっていましたよ。



夕食は「ぽかぽか鍋づくり」です。グループで話し合いながら、折り合いをつけながら、仲良く鍋を楽しむことができました。鍋奉行(なべぶぎよう)さん、お疲れ様！

ナイトプログラムは、特別講師のあきさんと「枝笛づくり」を行いました。初めての小刀にちょっぴり苦戦しながらも、すてきな音の鳴る笛を作ることができていました。



2日目：避難訓練、スキー活動

2日目の朝は避難訓練から始まりました。地震はいつどこで起こるか分かりません。学校であれば、机の下にかくれることができますが、いつでも机があるわけではありません。自分で考えて、安全を確保することが重要です。

2日目のスキー活動は、1日目は雪や風で動いていなかったムービングベルト(ベルトコンベア)やゴンドラが動いていました。何度もベルトコンベアに乗ってスキーを楽しんだり、初めてのリフト乗降にチャレンジしたり…昨日の練習が活かされていました。

それぞれが「みんなが気持ち良く過ごせるように」を意識して、行動してくれました。お天気には恵まれませんでした。豊かな自然を感じ、つながる楽しさを味わうことのできた2日間でした。



参加者の感想より

- ◆ スキーでは、最後の方でなんかコツをつかんで少しくまくなってうれしかったから、この楽しい思い出を残せたいし、白山ろくの自然の家に来て、本本当に良かったです。
- ◆ 初めて会う人ともコミュニケーションをとれてとてもよかった。みんなと仲良くできてよかった。中学一年生になってもスキー活動やキャンプをやってみようと思った。
- ◆ なべは、子どもだけで食べるのが初めてだったけど、みんないやな思いをせず食べきれたので良かったです。友達と食べるなべは、家族で食べるなべと一味ちがうように感じました。笛づくりは専門家の方による指導で、とても響きが良い笛をつくることができました。新しい友達もできて本当に楽しかったです。
- ◆ 毎日家にいたりするけれどスキーをしたらすごく楽しいと思いました。学校でもスキーなどしないので、こういう体験をできてすごく良かったです。リフトはおりるときけっこうこわかったです。でも友達が大じょうぶなど言ってくれたので安心しました。
- ◆ 枝笛を作りました。けずるところは少し難しかったけどみんなで協力してがんばれました。あきさんに手伝ってもらえたのでとてもいいえだ笛ができました。木のにおいも良いにおいでした。これから大事に使っていきます。
- ◆ 初めて小刀を使ったので、上手くできないことも多くありましたが、あきさんや他の先生方に教えてもらったおかげで、楽しくできました。先生方が優しく見守って下さっていたことが嬉しかったです。

